

障害あり：床掘作業において障害物等により施工条件に制限がある場合（例えば作業障害が多い場合）。

- 2 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業（溝掘り、基礎掘削、床掘り）を行う場合は障害ありを適用する。
- 3 軟岩をリッピングしたものは、リッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質をとる。
- 4 「01-03-200一般の岩石工」における床掘平均掘削幅 2 m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、ルーズな状態の積込みのバックホウ山積0.45 m³（平積0.35m³）を適用する。
- 5 矢板施工等の土留掘削については別途考慮する。

01-01-300 小規模土工機械床掘・締固め (SPX001、SPX012、SPX015、SPX016)

「20 施工パッケージ No.1 掘削、No.15 床掘り、No.18 舗装版破碎積込（小規模土工）、No.20 埋戻し」による。

01-01-320 機械土工（超ロングアームバックホウ土工）(SQ0101)

1 適用範囲

本歩掛は、河川等の河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去するような軽量作業及び治山・林道工事におけるほぐした土の掘削、積込、埋戻し作業を、超ロングアームバックホウにより施工する場合に適用する。ただし、これ以外の一般土工には適用しない。

2 施工概要

施工フロー図は次のとおりとする。

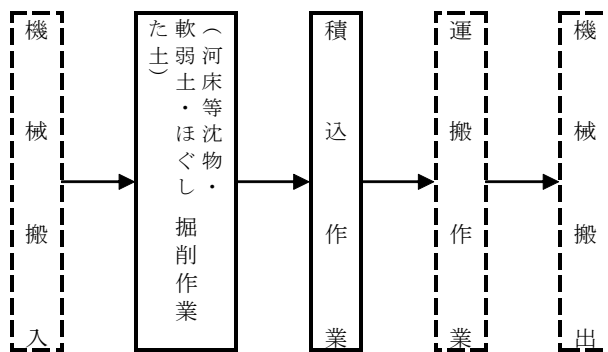


図2.1 施工フロー図

- 注) 1 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
 2 運搬作業は「03 運搬工」による。

3 機種の選定

(1) 掘削の機種選定

表3.1 掘削積込の機種選定

作業の種類	機 械 名	規 格	摘 要
掘削積込（水中の掘削積込含む）	超ロングアームバックホウ	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.4m ³ （平積0.3m ³ ） （第1次基準値）	陸上作業を対象とし、海上、水上作業は除く。
運搬作業	ダンプトラック	10t積	必要に応じて計上する。

注) 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。

02-01 土工機械運転

02-01-010 ブルドーザ運転

3 tブル 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	4.40	29kW×0.153
運転手 (特殊)	人	0.200.19	1/ 5.05.3 h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

02-01-030 ブルドーザ運転

3 tブル 破碎岩 (中硬岩・硬岩) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	4.40	29kW×0.153
運転手 (特殊)	人	0.200.19	1/ 5.05.3 h
機械損料(+0.25)	時 間	1.00	
計			

02-01-040 ブルドーザ運転

11 tブル 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	12.00	78kW×0.153
運転手 (特殊)	人	0.200.19	1/ 5.05.3 h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

02-01-060 ブルドーザ運転

11 tブル 破碎岩 (中硬岩・硬岩) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	12.00	78kW×0.153
運転手 (特殊)	人	0.200.19	1/ 5.05.3 h
機械損料(+0.25)	時 間	1.00	
計			

02-01-070 ブルドーザ運転

15 tブル 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	15.00	100kW×0.153
運転手 (特殊)	人	0.200.19	1/ 5.05.3 h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

02-01-090 ブルドーザ運転

15 tブル 破碎岩 (中硬岩・硬岩) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	15.00	100kW×0.153
運転手 (特殊)	人	0.200.19	1/ 5.05.3 h
機械損料(+0.25)	時 間	1.00	
計			

02-01-100 ブルドーザ運転

21 tブル 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	23.00	152kW×0.153
運転手 (特殊)	人	0.150 0.16	1/ 6.56 3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

02-01-160 ブルドーザ運転

13 t湿地ブル 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	12.00	78kW×0.153
運転手 (特殊)	人	0.200 0.19	1/ 5.05 3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

02-01-190 ブルドーザ運転

16 t湿地ブル 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	16.00	102kW×0.153
運転手 (特殊)	人	0.200 0.19	1/ 5.05 3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

02-01-220 ブルドーザ運転

3 tブル (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	25	指定事項
運転手 (特殊)	人	1.00	指定事項
機 械 損 料	供用日	1.56	指定事項 排出ガス対策型 (第1次基準値)
計			

備考：01-01-040 盛土敷均しに適用する。

02-01-222 振動ローラ運転

コンバインド型 3~4 t (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	15	指定事項
運転手 (特殊)	人	1.00	指定事項
機 械 賃 料	供用日	1.60	指定事項 排出ガス対策型 (第1次基準値)
計			

備考：01-01-045 盛土締固めに適用する。

02-01-224 振動ローラ運転

ハンドガイド式 0.8~1.1 t (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	5.3	指定事項
特 殊 作 業 員	人	1.00	指定事項
機 械 賃 料	日	1.44	指定事項
計			

備考：01-01-045 盛土締固めに適用する。

02-01-230 タイヤローラ運転

8～20 t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	6.00	71kW×0.085
運転手(特殊)	人	0.19 0.20	1/ 5.4 5.1h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

02-01-240 バックホウ運転

クローラ型 0.28m³(0.20m³) 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	6.30	41kW×0.153
運転手(特殊)	人	0.16	1/6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

02-01-270 バックホウ運転

クローラ型 0.45m³(0.35m³) 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	9.20	60kW×0.153
運転手(特殊)	人	0.16	1/6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	排出ガス対策型(第1次基準値)
計			

02-01-275 バックホウ運転

クローラ型 0.45m³(0.35m³) 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	9.20	60kW×0.153
運転手(特殊)	人	0.16	1/6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	排出ガス対策型(第2次基準値)
計			

02-01-280 バックホウ運転

クローラ型 0.45m³(0.35m³) 標準型 土砂・軟岩 I (A) (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	62	指定事項
運転手(特殊)	人	1.00	指定事項
機 械 損 料	供用日	1.52	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)
計			

備考：01-01-200 バックホウ掘削(治山事業)に適用する。

02-01-285 バックホウ運転

クローラ型 0.45m³(0.35m³) 標準型 土砂・軟岩 I (A) (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	62	指定事項
運転手(特殊)	人	1.00	指定事項
機 械 損 料	供用日	1.46	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削(一般土工)に適用する。

02-01-450 大型ブレーカ運転

1300kg級 軟岩Ⅰ(B)・軟岩Ⅱ (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	16.00	104kW×0.153
運転手(特殊)	人	0.16	1/6.3h
機械損料(+0.10)	時 間	1.00	バックホウ0.80m ³ (0.60m ³) 超低騒音型 排出ガス対策型 (第3次基準値)
機 械 損 料	日	0.16	大型ブレーカ
計			

備考：01-03-130 大型ブレーカ掘削(山地治山工)、01-03-220 大型ブレーカ掘削(一般)に適用する。

02-01-460 大型ブレーカ運転

1300kg級 中硬岩・硬岩 (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	16.00	104kW×0.153
運転手(特殊)	人	0.16	1/6.3h
機械損料(+0.25)	時 間	1.00	バックホウ0.45m ³ (0.35m ³) 超低騒音型 排出ガス対策型 (第3次基準値)
機 械 損 料	日	0.16	大型ブレーカ
計			

備考：01-03-130 大型ブレーカ掘削(山地治山工)、01-03-220 大型ブレーカ掘削(一般)に適用する。

02-01-490 ササカッター運転

10PS (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
ガ ソ リ ン	ℓ	14.03.0	
特殊作業員	人	1.00	
機 械 損 料	日	1.00	
計			5.4h/日運転

備考：01-02-100 ササカッター処理に適用する。

02-01-500 ウッドチップパー運転

30PS (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	24.822.0	
特殊作業員	人	1.00	
機 械 損 料	日	1.00	
計			5.4h/日運転

備考：01-02-110 ウッドチップパー処理に適用する。

02-01-550 超ロングアームバックホウ運転

クローラ型 0.40m³(0.30m³) (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	91	指定事項
運転手(特殊)	人	1.00	指定事項
機 械 損 料	供用日	1.47	指定事項 排出ガス対策型(第1次基準値)
計			

備考：01-01-320 機械土工(超ロングアームバックホウ土工)に適用する。

02-03-420 ケーブルクレーン運転

「諸資材・土工機械の分解組立用」 (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	35	48kw×0.108×6.7h
特 殊 作 業 員	人	1.00	
機 械 賃 料	日	1.00	ウインチ (別途計上)
計			6.7h/日運転

02-03-430 不整地運搬車運転

6～7 t積・クローラ型油圧ダンプ式 (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	16	116kW×0.134
運 転 手 (特 殊)	人	0.14	1/6.9
機 械 賃 料	時 間	1.00	排出ガス対策型 (第2次基準値)
計			6.9h/日運転

02-03-440 不整地運搬車運転

10～11 t積・クローラ型油圧ダンプ式 (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	25	190kW×0.134
運 転 手 (特 殊)	人	0.14	1/6.9
機 械 賃 料	時 間	1.00	排出ガス対策型 (第2次基準値)
計			6.9h/日運転

02-03-441 小型不整地運搬車運転

2 t積・クローラ型油圧ダンプ式 (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	3.10	
運 転 手 (特 殊)	人	0.14	1/6.9
機 械 賃 料	時 間	1.00	排出ガス対策型 (第1次基準値)
計			6.9h/日運転

02-03-450 バックホウ運転

0.28m³(0.20m³)「ケーブルクレーンアンカー架設・撤去用」 (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	6.30	41kW×0.153
運 転 手 (特 殊)	人	0.16	1/6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

02-07 管渠工機械運転

02-07-020 バックホウ（クレーン機能付）運転

油圧クローラ型0.45m³(0.35m³) 2.9 t吊クレーン機能付 (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	11.00 20	60kW× 0.175 0.153
運転手（特殊）	人	0.16	1/6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：07-01-300 鉄筋コンクリート台付管設置、07-03-400 L型側溝布設、07-05-100 集水桝設置に適用する。

02-07-021 バックホウ（クレーン機能付）運転

油圧クローラ型0.28m³(0.2m³) 1.7 t吊クレーン機能付 (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	40.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機 械 賃 料	日	1.64	指定事項
計			

備考：07-01-600 梯子土台設置に適用する。

02-07-040 バックホウ（クレーン機能付）運転

油圧クローラ型0.28m³(0.20m³) 1.7 t吊クレーン機能付 (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	6.30	41kW×0.153
運転手（特殊）	人	0.16	1/6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	排出ガス対策型（第2次基準値）
計			

備考：07-09-100 山腹水路工（集水桝）に適用する。

02-07-045 バックホウ（クレーン機能付）運転

油圧クローラ型0.28m³(0.20m³) 1.7 t吊クレーン機能付 (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	39.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機 械 損 料	供用日	1.56	指定事項 排出ガス対策型（第2次基準値）
計			

備考：07-09-100 山腹水路工（集排水路、明暗渠、暗渠）に適用する。

02-07-050 不整地運搬車運転

2.5 t積・クローラ型油圧ダンプ式 (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	10.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機 械 賃 料	供用日	1.66	指定事項 排出ガス対策型（第2次基準値）
計			

02-12 路盤工機械運転

02-12-010 振動ローラ運転

搭乗式・ダンデム型2.5～2.8 t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	3.00	19kw×0.160
特 殊 作 業 員	人	0.280 0.22	1/ 4.84 4.6h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：12-01-100 非舗装前提の路盤工、12-02-200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02-12-020 タンパ運転

60～80kg (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
ガ ソ リ ン	ℓ	5.00	3.0kw×0.346×5.0h
特 殊 作 業 員	人	1.00	
機 械 損 料	日	1.00	
計			5.0h/日運転

備考：12-01-100 非舗装前提の路盤工、12-02-200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02-12-030 タイヤローラ運転

8～20 t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	6.00	71kw×0.085
運 転 手 (特 殊)	人	0.190 0.20	1/ 5.4 5.1h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：12-01-100 非舗装前提の路盤工、12-02-200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02-12-110 ブルドーザ運転

3 t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	4.40	29kw×0.153
運 転 手 (特 殊)	人	0.200 0.19	1/ 5.05 5.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：12-01-100 非舗装前提の路盤工、12-02-200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02-12-120 ブルドーザ運転

15 t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	15.00	100kw×0.153
運 転 手 (特 殊)	人	0.200 0.19	1/ 5.05 5.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：12-01-100 非舗装前提の路盤工、12-02-200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02-12-140 バックホウ運転

0.80m3 (0.60m3) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	16.00	104kw×0.153
運転手(特殊)	人	0.16	1/6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：12-01-100 非舗装前提の路盤工、12-02-200 凍上抑制層(砂・火山灰)に適用する。

02-12-151 バックホウ運転

クローラ型 0.28m3(0.20m3) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	6.30	41kW×0.153
運転手(特殊)	人	0.16	1/6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	排出ガス対策型(第2次基準値)
計			

備考：12-03-410 砂利路盤工に適用する。

02-12-152 小型バックホウ運転

クローラ型 0.13m3(0.10m3) (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	22.0	25kW×0.153×5.7h
運転手(特殊)	人	1.00	
機 械 損 料	日	1.00	排出ガス対策型(第2次基準値)
計			

備考：12-03-410 砂利路盤工に適用する。

02-12-153 振動ローラ運転

搭乗式コンバインド型3~4t (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	13.00	指定事項
運転手(特殊)	人	1.00	指定事項
機 械 賃 料	供用日	1.26	指定事項 排出ガス対策型(第1次基準値)
計			

備考：12-03-410 砂利路盤工に適用する。

02-12-154 振動ローラ運転

ハンドガイド式 0.5~0.6t (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	3.0	指定事項
特殊作業員	人	1.00	指定事項
機 械 損 料	供用日	1.74	指定事項
計			

備考：12-03-410 砂利路盤工に適用する。

02-12-160 モータグレーダ運転

ブレード幅3.1m (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	9.20	85kW×0.108
運転手(特殊)	人	0.19 0.20	1/ 5.4 5.1h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：12-08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02-12-170 ロードローラ運転

マカダム両輪駆動10~12 t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	6.60	56kw×0.118
運転手 (特殊)	人	0.20	1/5.1h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：12-08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02-12-180 スタビライザー運転

幅1.7m級 (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	9.80	88kw×0.111
運転手 (特殊)	人	0.20	1/5.0h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：12-08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02-12-190 散水車運転

タンク容量5500~6500ℓ (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	5.80	132kw×0.044
運転手 (一般)	人	0.18	1/5.5h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：12-08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02-12-200 チップスプレッダ付ダンプトラック運転

10 t ダンプ (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	11.00	246kw×0.043
運転手 (一般)	人	0.17	1/5.9h
機 械 損 料	時 間	1.00	10 t ダンプ
タイヤ損耗	時 間	1.00	普通
機 械 損 料	日	0.17	チップスプレッダ (テールゲート式)
計			

備考：12-08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02-12-210 ディストリビュータ運転

自走式2000~3000ℓ (日・時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	32.00 3.10	(74 8.0) kw×0.090×4.3h
運転手 (一般)	人	1.00	
機 械 損 料	日	1.00	
トラック損料	h	4.30	普通型6~6.5 t 積
日 当 たり 計			
時 間 当 たり 計			4.3h/日運転

備考：12-08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02-15-181 発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 5 KVA 作業時排水 (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	7.90	指定事項
特 殊 作 業 員	人	0.14	指定事項
機 械 賃 料	供用日	1.10	指定事項
計			

備考：15-03-600 水替費（小口径）に適用する。

02-15-182 発動発電機運転

ガソリンエンジン駆動 2 KVA 常時排水 (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
ガ ソ リ ン	ℓ	28.00	指定事項
特 殊 作 業 員	人	0.17	指定事項
機 械 賃 料	供用日	1.10	指定事項
計			

備考：15-03-600 水替費（小口径）に適用する。

02-15-183 発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 5 KVA 常時排水 (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	24.00	指定事項
特 殊 作 業 員	人	0.17	指定事項
機 械 賃 料	供用日	1.10	指定事項
計			

備考：15-03-600 水替費（小口径）に適用する。

02-15-190 ブルドーザ運転

15 t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	15.00	100kw×0.153
運 転 手 (特 殊)	人	0.200.19	1/ 5.05.3 h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：15-05 仮設道に適用する。

02-15-195 バックホウ運転

0.80m3 (0.60m3) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	16.00	104kw×0.153
運 転 手 (特 殊)	人	0.16	1/6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：15-05 仮設道、15-20-700 伐開物集積積込作業（機械）に適用する。

02-15-196 ブルドーザ運転

11 t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	12.00	78kw×0.153
運転手(特殊)	人	0.20 0.19	1/ 5.05 3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：15-05 仮設道、15-20-300 機械除根に適用する。

02-15-200 クレーン付トラック運転

4 t 積 2.9 t 吊 (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	5.70	132kw×0.043
運転手(特殊)	人	0.17	1/5.8h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：15-07-500 仮設落石防護柵設置撤去に適用する。

02-15-210 草刈り機運転

肩掛式 1.3 kW (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
混 合 油	ℓ	1.50	1.3kw×0.588×2.0h
機 械 損 料	日	1.00	
計			2.0h/日運転

備考：15-20-100 人力伐開に適用する。

02-15-230 ブルドーザ運転

15 t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	15.00	100kw×0.153
運転手(特殊)	人	0.20 0.19	1/ 5.05 3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：15-20-300 機械除根に適用する。

02-15-240 ブルドーザ運転

21 t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	23.00	152kw×0.153
運転手(特殊)	人	0.15 0.16	1/ 6.56 3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：15-20-300 機械除根に適用する。

02-15-250 潜水ポンプ運転

作業時排水(揚程15m以下) (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
機 械 賃 料	供用日	1.20	指定事項(口径150mm)
機 械 賃 料	供用日	1.20	指定事項(口径200mm)
計			

備考：15-03 水替費に適用する。

02-16 地すべり機械運転

02-16-010 ボーリングマシン運転

油圧式5.5KW (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	5.60	5.8kw×0.151×6.4h
機 械 損 料	日	1.00	
計			6.4h/日運転

備考：16-01 小口径ボーリング工に適用する。

02-16-020 グラウトポンプ運転

横型単筒30~70ℓ/min (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	5.30 16.00	4.0kw×0.207 2.5×6.4h
機 械 損 料	日	1.00	
計			6.4h/日運転

備考：16-01 小口径ボーリング工に適用する。

02-16-030 小型渦巻ポンプ運転

可搬自吸式 口径80mm×揚程30m (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
ガ ソ リ ン	ℓ	10.00	1.6ℓ/h×6.4h
機 械 損 料	日	1.00	
計			6.4h/日運転

備考：16-01 小口径ボーリング工に適用する。

02-16-040 発動発電機運転

45KVA (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	39.00	6.1ℓ/h×6.4h
機 械 賃 料	日	1.00	
計			6.4h/日運転

備考：16-01 小口径ボーリング工に適用する。

02-16-050 洗浄用高圧ポンプ運転

14.7MPa エンジン式35~70ℓ/min (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	28.00	指定事項
機 械 損 料	供用日	1.61	
計			

備考：16-01-700 集排水ボーリング孔洗浄工に適用する。

02-16-065 大口径ボーリングマシン運転

19KW (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
機 械 損 料	供用日	1.33	指定事項
計			

備考：16-03 大口径ボーリング工に適用する。

02-17 保安林整備機械運転

02-17-010 草刈機運転

肩掛式 1.3kW (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
混 合 油	ℓ	6.10	1.3kw×0.588×8.0h
特 殊 作 業 員	人		別途計上
機 械 損 料	日	1.00	
計			8.0h/日運転

備考：17-01-010 筋刈地拵、17-01-020 全刈地拵、17-09-100 下刈に適用する。

02-17-020 レーキドーザ運転

11t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	13.00	76kw×0.175
運 転 手 (特 殊)	人	0.17	1/5.9h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計 (時間当たり)	時 間		
計 (分当たり)	分		

備考：17-01-030 レーキドーザ地拵、17-01-200 土坊主整地、17-01-220 倒木整理、17-01-230 稚樹及び根曲竹除去に適用する。

02-17-090 ブルドーザ運転

湿地10t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	11.00	71kw×0.153
運 転 手 (特 殊)	人	0.20 0.19	1/ 5.0 5.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：17-01-210 谷地坊主除去に適用する。

02-17-100 レーキドーザ運転

湿地13t (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	16.00	93kw×0.175
運 転 手 (特 殊)	人	0.17 0.14	1/ 5.9 7.1h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：17-01-230 稚樹及び根曲竹除去に適用する。

02-17-110 バックホウ運転

油圧クローラ型0.45m³ (0.35m³) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	9.20	60kw×0.153
運 転 手 (特 殊)	人	0.16	1/6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：17-02-100 フィルター材敷設に適用する。

02-17-230 ブルドーザ運転

3 t 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	4.40	29kw×0.153
運転手 (特殊)	人	0.20 0.19	1/ 5.0 5.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：17-11-250 木材チップ機械敷均しに適用する。

02-17-240 ブルドーザ運転

11 t 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	12.00	78kw×0.153
運転手 (特殊)	人	0.20 0.19	1/ 5.0 5.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：17-11-250 木材チップ機械敷均しに適用する。

02-17-250 ブルドーザ運転

15 t 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	15.00	100kw×0.153
運転手 (特殊)	人	0.20 0.19	1/ 5.0 5.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：17-11-250 木材チップ機械敷均しに適用する。

02-17-260 ブルドーザ運転

21 t 土砂・軟岩 I (A) (時間)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	23.00	152kw×0.153
運転手 (特殊)	人	0.15 0.16	1/ 6.5 6.3h
機 械 損 料	時 間	1.00	
計			

備考：17-11-250 木材チップ機械敷均しに適用する。

02-18-062 ジェットヒーター運転

126MJ/h(30,100kcal/h) (ブロック積) (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
灯 油	ℓ	72.36	指定事項
機 械 賃 料	日	1.20	指定事項
計			

備考：18-04 防寒養生費に適用する。

02-18-070 発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動2.7/3KVA (無筋構造物) (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	9.12 10.73	3.4 kw×0.145×18.5
機 械 損 料	日	1.20	指定事項
計			

備考：18-04 防寒養生費に適用する。

02-18-071 発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動2.7/3KVA (鉄筋構造物) (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	7.48 8.82	3.4 kw×0.145×15.2
機 械 損 料	日	1.20	指定事項
計			

備考：18-04 防寒養生費に適用する。

02-18-072 発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動2.7/3KVA (ブロック積) (日)

種 別	単 位	数 量	摘 要
軽 油	ℓ	9.91 11.66	3.4 kw×0.145×20.1
機 械 損 料	日	1.20	指定事項
計			

備考：18-04 防寒養生費に適用する。

03-11-400 直接工事費に計上する鋼橋桁運搬費

1 鋼橋桁運搬費

鋼橋桁運搬費の積算は、各橋種ごとに表1.1鋼橋工場製作運搬費に示す回帰式を用いて積算するものとする。

表1.1 鋼橋工場製作運搬費

(1 t 当たり)

橋種	輸送単価 (円/t)
鋼桁 (鋼床版鋼桁を除く)	$Y = \cancel{34.71}35.07X + \cancel{8,047}13,051$
鋼桁 (鋼床版鋼桁のみ)	$Y = \cancel{13.44}33.11X + \cancel{12,409}14,686$
箱桁 (鋼床版箱桁を除く)	$Y = \cancel{29.31}29.94X + \cancel{8,572}12,939$
箱桁 (鋼床版箱桁のみ)	$Y = 26.38X + 13,472$
トラス・アーチ・ラーメン	$Y = \cancel{22.03}24.95X + \cancel{7,040}14,523$
橋脚	$Y = 26.12X + 8,518$
アンカーフレーム	$Y = 24.01X + 11,384$
横断歩道橋	$Y = \cancel{55.88}80.84X + \cancel{15,778}11,938$

Y : 輸送単価 (円/t)

X : 運搬距離 (km)

2 輸送の起算点

(1) 鋼橋等の輸送起算点は、次表を参考とする。

表2.1 鋼橋等の輸送起算点

区分	起算点	区分	起算点
鋼橋	札幌市	横断歩道橋・ 鋼製シェッド	札幌市
	北広島市		小樽市
	旭川市		北広島市
	苫小牧市		旭川市
	室蘭市		苫小牧市
	釧路市		室蘭市
			釧路市

(注) 1 各市町村で示されている起算点の起算場所は、市役所所在地とする。

2 上記によりがたい場合は、実態を考慮のうえ別途積算すること。

(2) プレキャスト製シェッド (コンクリート製品) の輸送起算点 (工場所在地) は次表を参考とする。

表2.2 プレキャスト製シェッド (コンクリート製品) の輸送起算点 (工場所在地)

区分	起算点
プレキャスト製 シェッド	栗山町
	登別市
	鶴居村

(注) 1 各市町村で示されている起算点の起算場所は、市役所所在地とする。

2 上記によりがたい場合は、実態を考慮のうえ別途積算すること。

(3) プレキャスト製PC桁の輸送起算点 (工場所在地) は次表を参考とする。

表2.3 プレキャスト製PC桁の輸送起算点 (工場所在地)

区分	起算点
プレキャスト製 PC桁	栗山町
	登別市
	愛別町 ※スラブ桁のみ可

(注) 1 各市町村で示されている起算点の起算場所は、市役所所在地とする。

2 上記によりがたい場合は、実態を考慮のうえ別途積算すること。

03-11-700 運搬費の積算

1) 運搬費の積算内容

運搬費の積算は共通仮設費率に含まれる運搬費と、積上げ項目による運搬費を合算したものとす。

2) 共通仮設費率に含まれる運搬費

- ① 質量20 t 未満の建設機械の搬入、搬出並びに現場小運搬
- ② 器材等（型枠材、支保材、足場材、敷鉄板（敷鉄板敷設・撤去工で積み上げ分は除く）、橋梁ベント、橋梁架設用タワー、橋梁用架設桁設備等）の搬入、搬出並びに現場内小運搬（器材等のケーブルクレーン等による現場内運搬を除く。）
- ③ 建設機械の自走による運搬費
- ④ 建設機械等の日々の回送（分解、組立、輸送）に要する経費
- ⑤ 建設機械の現場内小運搬

3) 積上げ項目による運搬費

- ① トラッククレーン回送費
 - a. トラッククレーン（ラチスジブ型25 t 吊及び油圧伸縮ジブ型80 t 吊以上）
 - b. 回送費については、共通仮設費に計上する。
- ② 賃料適用のトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型80 t 吊以上）及びクローラクレーン（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型35 t 吊以上）の分解・組立時に係る本体賃料。
- ③ 質量20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による輸送及び、分解・組立に要する費用。
ただし、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型20～~~25~~50 t 吊）及びラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型20～~~50~~70 t 吊）は除く。（共通仮設費に計上）

①～③の積算方法は03-11-900 「**重建設機械分解組立及び運搬費**」による。

④ 質量20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬の積算方法

i 質量20t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費用

質量20t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬は次式により行うものとする。

$$U_k = A + M + K \quad (\text{又は} K')$$

ただし U_k : 質量20t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費

A : 基本運賃料金 (円)

表1-1によるものとする。

なお、運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。

また、下表に掲げてある基本運賃は、運搬割増（特大品、悪路、冬期、深夜早朝、地区等）の有無にかかわらず適用できる。

ただし、陸上輸送以外が必要な場合は、これに要する費用を別途計上すること。

M : その他の諸料金 (円)

1) 組立、解体に要する費用

重建設機械の組立、解体に要する費用は別途加算する。

2) その他下記事項の料金を必要により計上する。

- a 荷役機械使用料
- b 自動車航送船使用料
- c 有料道路利用料
- d その他

K : 運搬される建設機械の運搬中の賃料 (円)

K' : 運搬される建設機械の運搬中の損料 (円)

運搬される建設機械（被運搬建設機械）の運搬中の賃料又は損料を計上する。

積算方法は、「ii 運搬される建設機械の運搬中の賃料及び損料」による。

* 建設機械運搬方法等は表1-2による。

ii 運搬される建設機械の運搬中の賃料 (K) 及び損料 (K')

運搬される建設機械の片道分の運搬中の賃料及び損料は次式により計上する。

運搬中の賃料 = 運搬される機械の供用1日あたり賃料 (円) × 運搬に要する日数 (日)

$K =$ 運搬される建設機械の運搬中の供用1日あたり賃料 (円) × $L / (\text{輸送速度} \times 8)$

(3) 敷鉄板の積込、取卸しに要する費用

敷鉄板の積込・取卸しに要する費用は次のとおりとする。

表1.7 敷鉄板の積込み・取卸し費

場 所	作 業	費 用 (円/ t)		
		単独作業	設置のみ・撤去のみ	設置・撤去一式
基 地	積込み	750	1,500(750)	3,000(1,500)
現 場	取卸し	750(0)		
	積込み	750(0)		
基 地	取卸し	750		

注) 現地にて荷台から直接敷設・撤去する場合は括弧内の金額とする。詳細は、H23.7.28付け水林総第801号「敷鉄板運搬費等の積算計上について」によること。

(4) 輸送起算点

(1) 仮設鋼材の輸送起算点は下記の所在地を参考とする。

表1.8 輸送起算点 (仮設鋼材)

		旭川市	苫小牧市	北広島市	千歳市	江別市	伊達市	帯広市	比布町	池田町	美幌町	各市町村
鋼矢板	Ⅱ型	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ型	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	—
	Ⅳ型	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
軽量鋼矢板	Ⅱ型	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—
H型鋼 山留材 (主材・副部材)	H-200	—	—	○	⊖	○	—	—	—	—	—	—
	H-250	—	—	○	⊖	○	—	—	—	—	—	—
	H-300	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	—
	H-350	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
	H-400	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
(桁材)	H-594	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
覆工板		—	—	○	○	○	—	—	○	—	○	—
仮設防護柵	Gr-C-2B-2	—	—	○	—	○	—	—	—	○	○	—
仮設落石防護柵	H-125	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—
敷鉄板												○

備考1 各市町村で示されている起算点の起算場所は、市役所又は役場とする。

2 次の事項により上表により難しい場合は、別途実態を勘案のうえ積算すること。

- ・使用数量が特に多い場合
- ・近傍にて数量を確保できる場合（鋼矢板・H形鋼・覆工板・仮設防護柵・仮設落石防護柵）
- ・近傍にて数量を確保できない場合（敷鉄板）
- ・上表に無い特別な資材については別途考慮する。

3 敷鉄板については「15-06-300敷鉄板設置・撤去」で計上した敷鉄板を対象とする。

(2) 仮橋の輸送起点は、下記の所在地を参考とする。

表1.9 輸送起点 (仮橋)

型 式	輸 送 起 点
ガードタイプ	札幌市、室蘭市、苫小牧市、旭川市
トラスタイプ	札幌市、苫小牧市、旭川市

備考 1 各市各町で示されている起算点の起算場所は、市役所又は役場とする。

2 近傍にて数量を確保できる場合は別途実態を勘案のうえ積算すること。

(3) 骨材再生工の自走式破砕機（自走式クラッシャー）の輸送起算点は次表の所在地を参考とすること。

表1.10 輸送起算点（自走式破砕機）

機 械 名	規 格	輸 送 起 算 点
自 走 式 破 砕 機	自走式クラッシャー	札幌市 石狩市 北広島市 恵庭市 余市町 当別町 釧路市 帯広市 中標津町

備考1 各市、各町で示されている起算点の起算場所は、市役所又は役場とする。

2 輸送車両は、29 t車を標準とし、特大割増を加算する。

3 現場内運搬は計上しない。

4 管内の建設機械レンタル状況及び処分業者の機械保有状況（処理施設として登録されていない機械）を勘案の上、適切に積算すること。

(4)バックホウ（超ロングアーム型）の輸送起算点は次表の所在地を参考とすること。

表1.11 輸送起算点（バックホウ（超ロングアーム型））

機 械 名	規 格	輸 送 起 算 点
<u>バックホウ (超ロング アーム型)</u>	<u>山積0.4m³(平積0.3m³)</u>	<u>札幌市 石狩市 岩見沢市 三笠市 砂川市 深川市 苫小牧市 新ひだか町 浦河町 旭川市 北見市 紋別市 帯広市 芽室町 釧路市</u>

備考1 各市、各町で示されている起算点の起算場所は、市役所又は役場とする。

2 輸送車両は、22 t車を標準とし、特大割増を加算する。

03-11-900 重建設機械分解組立及び運搬費 (SQ0305)

1 適用範囲

本歩掛は、工事現場に搬入・搬出する標準的な建設機械の分解・組立に適用し、適用する建設機械は次表のとおりとする。

表1.1 適用建設機械

機 械 区 分	適 用 建 設 機 械
ブ ル ド ー ザ	ブルドーザ（リッパ装置付を含む） 普通 21 t 級以上～ 63.4 t 級以下 湿地 20 t 級以上～28 t 級以下
バ ッ ク ホ ウ 系	バックホウ（超ロングアーム型は除く） 山積 1.0m ³ 以上～ 2.1m ³ 以下 （平積 0.7m ³ 以上～ 1.5m ³ 以下） 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積 0.4m ³ 以上～ 0.6m ³ 以下
ク ロー ラ ク レ ー ン 系	クローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラジガブ型、機械駆動式ウインチ・ラジガブ型〕 吊り能力16 t 以上～ 300 t 以下 クラムシェル〔油圧ロープ式・機械ロープ式〕 平積 0.6m ³ 以上～ 3.0m ³ 以下 パイプロハンマ〔クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ラジガブ型50～55 t 吊〕
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊り能力 80 100 t 以上～ 500 t 以下
ク ロー ラ 式 杭 打 機	ディーゼルハンマ（防音カバー装備を除く） 油圧ハンマ アースオーガ（二軸同軸式を含む） ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘機 機械質量 20 t 以上～15 t 以下
オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径 2,000mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径 2,000mm以下
地 盤 改 良 機 械	サンドパイル打機 粉体噴射機攪拌機（付属機器除く） 深層混合処理機 ペーパードレーン → <u>プレファブリケティッドバーチカルドレーン</u> 打機 機械質量 20 t 以上～ 170 t 以下
ト ン ネ ル 用 機 械	自由断面トンネル掘進機 ドリルジャンボ 機械質量 20 t 以上～60 t 以下
連 続 地 中 壁 用 機 械	地下連続壁施工機〔回転水平多軸・クローラ式〕 壁厚 650mm～1,500mm 壁厚 1,200mm～2,400mm クローラ式アースオーガ〔三軸式・直結3点支持式〕オーガ出力90kw

2 施工歩掛

(1) 使用機械の規格選定

分解・組立に使用するクレーンは、次表を標準とする。

表2.1 クレーンの規格選定

機 械 区 分	規 格	分解組立用クレーン	
		名 称	規 格
バックホウ系 オールケーシング掘削機 (クローラ式) トンネル用機械	表1.1参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 (排出ガス対策型) (第2次基準値)	25 t 吊
ブルドーザ	21 t 級以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 (〃)	25 t 吊
	44 t 級以下		
	63 t 級以下		
クローラクレーン系	35 t 吊以下 (クラムシェル平積0.6m3含む)	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 (〃)	25 t 吊
	80 t 吊以下 (クラムシェル平積2.0m3含む)		
	150 t 吊以下 (クラムシェル平積3.0m3含む)		50 60 t 吊
	300 t 吊以下		
トラッククレーン	表1.1参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 (〃)	50 70 t 吊
クローラ式杭打機	質量 60 t 以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 (〃)	25 60 t 吊
	質量100 t 以下		
	質量150 t 以下		
オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕	表1.1参照	クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 排出ガス対策型(第1次基準値)	60~65 t 吊
	表1.1参照 (本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)] 70t吊を使用する場合)	クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 排出ガス対策型(第3次基準値)	70 t 吊
	表1.1参照 (本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)] 100t吊を使用する場合)	クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 排出ガス対策型(第3次基準値)	100 t 吊
	表1.1参照 (本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型排出ガス対策型(2011年規制)] 100t吊を使用する場合)	クローラクレーン 油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型 排出ガス対策型 (2011年規制)	

備考1 上表に無い機種又は、現場条件等により上表により難しい場合は別途選定することができる。

2 ラフテレーンクレーンは賃料とし、クローラクレーンは損料とする。

~~ただし、オールケーシング掘削機〔スキッド式〕の分解組立用クローラクレーンは損料とする。~~

(2) 歩 掛

分解組立1台1回当たり歩掛は、次表とする。

表2.2 歩 掛

機 械 区 分	規 格 区 分	機 械 質 量 区 分	労 務 歩 掛 特 殊 作 業 員 (人) 〔分解+組立〕	ク レ ー ン 運 転 歩 掛 (日) 〔分解+組立〕	運 搬 費 等 率 (%)	諸 雑 費 率 (%)
ブ ル ド ー ザ	21 t吊以下	—	2.8	2.1	19 155	21
	44 t級以下	—	4.6	3.4	19 153	21
	69 t級以下	—	8.4	6.2	90	11
バ ッ ク ホ ウ 系	山積1.4m3以下 〔油圧クラムシェルレス ピック0.4m3以上 0.6m3以下含む〕	—	2.7	1.4	21 250	24
	山積2.1m3以下	—	4.5	2.3	22 256	25
ク ロー ラ ク レ ー ン 系	35 t吊以下 〔クラムシェル 平積0.6m3以下〕	—	3.0	0.8	38 444	22
	80 t吊以下 〔クラムシェル 平積2.0m3以下〕	—	5.5	1.5	37 434	21
	150 t吊以下 〔クラムシェル 平積3.0m3以下〕	—	11.3	3.1	28 315	16 15
	300 t吊以下	—	20.5	5.7	28 313	16 15
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	120 t吊以下	—	4.3	1.5	43 394	9 75
	160 t吊以下	—	5.7	1.9	45 409	10 78
	360 t吊以下	—	11.7	4.0	44 399	9 75
	50 50 t吊以下	—	20.9	7.1	44 401	9 76
ク ロー ラ 式 杭 打 機	60 t以下	60 t以下	8.6	2.1	14 163	2
	100 t以下	100 t以下	15.5	3.7	14 164	2
	150 t以下	150 t以下	23.5	5.6	14 163	2
オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機 (クローラ式)	—	—	3.9	3.4	51 595	5
オ ー ル ケ ー シ ン グ 掘 削 機 (スキッド式)	—	—	4.9	11.9 (h)	48 558	4
	(本体工事でクローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)〕70t吊を使用する場合)	—	4.9	11.9 (h)	42 490	4
	(本体工事でクローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型排出ガス対策型(第3次基準値)〕100t吊を使用する場合)	—	4.9	11.9 (h)	32 370	3
	(本体工事でクローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラジジブ型排出ガス対策型(2011年規制)〕100t吊を使用する場合)	—	4.9	11.9 (h)	31 361	3

1) 無筋・鉄筋構造物

地上打設高さ 打設地上高さ	4.5m超	適用範囲外					
	4.5m以下	バックホウ打設 (クレーン機能付) ただし L ≤ 4.0m ※吊り走行なし	コンクリートポンプ車打設		コンクリートポンプ車打設		適用範囲外
	1.0m超	人力打設 (現場内小運搬15m以下)	10m ³ /日以上 100m ³ /日未満		100m ³ /日以上 500m ³ /日未満		適用範囲外
	1.0m以下						
	0m	10m ³ /日未満	10m ³ /日以上 100m ³ /日未満		100m ³ /日以上 500m ³ /日未満		500m ³ /日以上
	-1.0m超	バックホウ打設 (クレーン機能付) ただし L ≤ 2.0m ※吊り走行なし	コンクリートポンプ車打設		コンクリートポンプ車打設		適用範囲外
-1.0m以下							
-6.5m以上	適用範囲外						
-6.5m未満	適用範囲外						

設計日打設量

図1.2 コンクリート打設工法の選定（無筋・鉄筋構造物）

2) 小型構造物

地上打設高さ 打設地上高さ	28m以上								
	4.5m超	バックホウ打設 (クレーン機能付) ※吊り走行なし				クレーン打設 (ラフテレーンクレーン)		クレーン打設 (クローラクレーン)	適用範囲外
	4.5m以下					15m以下			
	1.0m超	人力打設 (現場内小運搬15m以下)		2m以下 2m超 4m以下 4m超		20m以下 20m超 30m以下		30m超	
	1.0m以下								
	0m	2m以下		2m超 4m以下 4m超		20m以下 20m超 30m以下		30m超	
-1.0m超	バックホウ打設 (クレーン機能付) ※吊り走行なし		クレーン車打設 (ラフテレーンクレーン)		クレーン打設 (クローラクレーン)		適用範囲外		
-1.0m以下									
-6.5m以上									
-6.5m未満									

水平打設距離

図1.3 コンクリート打設工法の選定（小型構造物）